静岡 ユースサッカー THE YOUTH SOCCER

2月1日水曜日
昭和53年（1978年）

昭和49年5月1日第三種郵便物認可

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　堀田哲爾
清水市七ッ新屋291
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市真砂町1－12
編集専用電話66－5282（代）

毎月1回1日発行　1部30円

PEPSI

第十回 静岡県少年団大会 清水市で開催！

ペプシ杯争奪戦 参加48チーム 組合わせと日程発表！

第十回ペプシ杯静岡県サッカー少年団大会は二月十一日十二日、十九日の三日間、清水市営グランドを中心に行われるが、その組合わせと試合時間、会場が決定した。

小学生

第一ブロックでは長泉北、藤枝、西豊田、清水岡の四強のたたかい。特に一回戦であたる長泉北と清水岡の試合は似ているチームだけにおもしろい。

しかし冬の大会に強い藤枝がおそらく苦しみながらも出てくるものと思われる。

第二ブロックでは入江が特に光る。昨年の優勝チーム稲葉がどのようにあたるかが見もの。志太の代表小川由比と好試合をやろうあろう。しかし実力は入江が一枚上であろう。

第三ブロックでは清水第一位の清水がよくまとまっている。どこからでも点の取れる清水、中央と、おそらくが強味。昨年県下最強の清水勢と藤枝勢の戦のチームでありながらかし昨年のように風の一回戦敗退の失敗があコンデションでチームり、名誉ばんかいの不調となり、全く上めにも期待したいたし位入賞のないこともあろ。青葉、大見が大こり、十年目の大会としぐいをやることもあり物て両地域の代表に期待ダークホース。

しかし各地がレベルアップされているだけに、予想外のチームの進出も考えられ、目を離せない。

中学生の部

小学生とちがってテクニックだけでは勝負が決まらない中学生は均して見おとりするチームがないので相当の激戦が行われるであろう。練習試合等を見て大方の予想としてはベスト4に藤枝、入江、清水、中央と、おそらく清水勢と藤枝勢の戦いになるであろう。しかし昨年のように風のコンデションでチームの不調となり、全く上位入賞のないこともあり、十年目の大会として両地域の代表に期待したい。

しかし各地がレベルアップされているだけに、予想外のチームの進出も考えられ、目を離せない。

中学生の部

小学生とちがってテクニックだけでは勝負が決まらない中学生は予想がむずかしい。過去の成績とコーチの力の入れ方でだけしか判断できないのである。しかし今年も浜松勢に対して中部勢のテクニックがどう通じるかの大会になろう。特に一回戦から浜松一位の南洋対常勝西益津、七中対高松中、蜆塚中対藤枝中、港中対八中と優勝候補同士の対戦があり予断をゆるさない。その点六中、浜松南部中は楽に出て来そうである。

女子招待サッカー

毎年県大会のアトラクションゲームとして女子招待サッカーを行うが、今年は入江と西河内の女子を招待した。

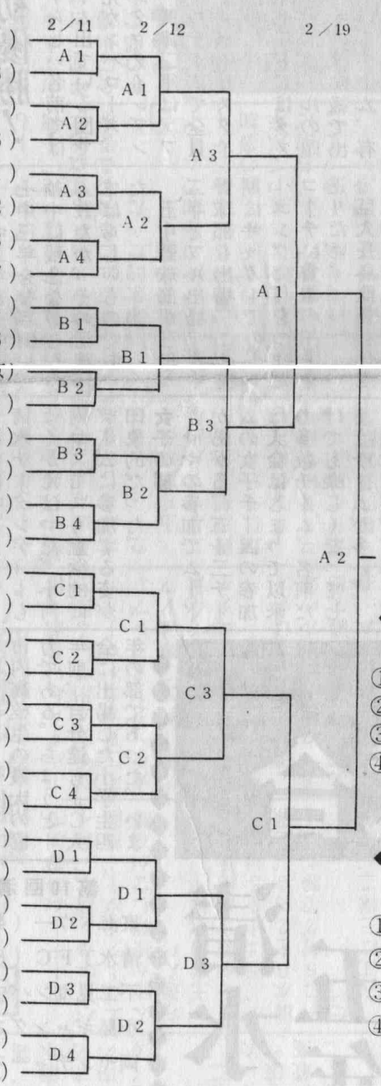
清水女子リーグ戦では西河内が、王座では入江が勝っており、入江は関東リーグでもチャンピオンになっているだけに好ゲームとなるであろう。

組合わせは次の通りである。

第10回ペプシ杯静岡県サッカー少年団大会組み合わせ

小学生の部

長泉北（東部1）
岡（清水3）
西豊田（静岡1）
浜名（西部6）
藤枝（藤枝1）
細江（榛原2）
芳川（西部3）
裾野（東部7）
小川（志太1）
愛鷹（東部6）
船越（西部2）
入江（清水2）
服織（静岡4）
清水南（東部4）
稲葉（藤枝3）
金谷（榛原1）
黒田（東部3）
高州（藤枝4）
清水（清水1）
青葉（静岡2）
岡部（志太3）
大見（東部5）
浜松東（西部4）
藤枝中央（藤枝2）
河輪（西部5）
大井川南（志太2）
有度一（清水5）
飯田（西部1）
庵原（清水4）
久能（静岡3）
今泉（東部2）



中学生の部

南陽中（浜松1）
西益津中（藤枝）
清水六中（清水3）
由比中（庵原）
長泉中（東部2）
西部中（浜松4）
清水七中（清水2）
高松中（静岡1）
大里中（静岡2）
榛原中（榛原）
蜆塚中（浜松3）
藤枝中（藤・志）
愛鷹中（東部1）
南部中（浜松2）
港中（志太）
清水八中（清水1）

中学生の部

◆試合時刻◆

	2／11	2／12	2／19
①	11：00	10：00	10：00
②	12：00	11：10	13：00
③	13：00		14：00
④	14：00		

◆試合会場◆
A　市営グランド
E　三中グランド
F　四中グランド

小学生の部

◆試合時刻◆

	2／11	2／12	2／19
①	11：00	10：00	10：00
②	12：00	11：00	13：00
③	13：00	14：00	14：00
④	14：00		

◆試合会場◆
A　市営グランド
B　入江小グランド
C　清水小グランド
D　庵原小グランド

少年サッカー指導教程 ⑳

日本サッカー協会公認コーチ　堀田哲爾

守備の基本――カバーリング

◎ポジションの責任を果たすこと

十一人のプレーヤーがまず自分の位置する場の仕事の責任は何であるか理解しておくことが大切である。その中で重要な仕事、まずやらなければならないこと、完全にしなければならないことをお互いに知っておくことである。

◎前方と隣りの味方の後方をまずカバーせよ

守備者は自分の担当すべき相手を忠実にマークするだけでは一人前ではない。常に前方や隣の味方のプレーを助けることが大切である。特に相手が強い場合はマークとカバーを味方同士でその仕事のできるポジションをとることが大切である。

実際には相手の位置に応じてマークとカバーのどちらかにしなければならない場合が多いが常にボールの動きと相手の動きで、修正することが大切である。

◎次におこりうる状況の変化に応じられるプレーを

試合中、常に次におこることを予測することが大切である。そのとが大切である。その予測のもとに自分の動きを考えなければならない。いくら予測しても次のプレーに自分が動いていなければ予測しないことと同じになる。いつも何がおこるか、何をすべきかを考え、プレイすることが大切である。

◎味方のカバーリングや移動のあとをうめるカバーリング

カバーリングした選手のあとをうめるために常に考えなければならない。プレーヤーが移動した時におこる状態は常に修正することが大きなカバーリングともいえる。

◎予測する力を高める

基本的にカバーリングはプレーの中で味方のサポートとなることはもちろんであるが、予測したプレーは出足が常に早くなり、プレーが早くなることになる。

◎カバーリングの約束ごと

こういう状況がおこったら、こういう具合にカバーして守ってくれ、というふうに、一つのポジション、特定のプレーヤーに対する要求と義務をはっきり確認しておくべきである。そうすると後退してカバーにまわってディフェンスの深さを増すことにもなり、前でのプレーも思い切りのよいプレーが生まれてくる。

（次回はディフェンス最終「深さ」）

ユースサッカー縮刷版　第一集とユースサッカーのお申込みは！
中島新聞舗
電話（66）五二八二へ

第六回 清水大会は 3月27日に開幕！

春のサッカーフェスティバル 高校・中学同時に開催

全国高校サッカーフェスティバルは今年で六回目をむかえるが、全国から今年も三月春休みに静岡県に集まってくる。

高校は清水大会のほか浜松大会、藤枝交欲会、東部大会の四つの地区で開催される。

本年度も大学新入生の一年ジュニアの参加ほや、神戸FC、枚方FC、読売FCも参加し高校だけの大会ではなく、広くサッカーの技術向上を中心とした大会となる。

なお静岡の納谷義郎氏が中心となって三回行われていた中学サッカーフェスティバルも中学校関係者少年団組織の中で発展的に行うことになり、これまた静岡、清水、藤枝の三会場にて交歓試合八十試合が行われる。

参加希望チームは県サッカー協会に申しこみをされたい。

PEPSI

第一回読売フラミンゴ杯女子大会

清水ファーストレディー 初優勝を飾る！

64才の中島さん（浜松）に特別賞

静岡県婦人サッカー五日県営草薙グランドで行われ、清水代表清水ファーストレディーが浜松可美に3対1、浜松河輪に3対0で勝ち、読売新聞社より贈られたフラミンゴ杯を獲得した。

清水マドモアゼルは浜松河輪を圧倒的に攻めながら得点できず、ただ一回のチャンスを生かされ1対0で敗れた。

両軍はげしい動きの好試合で見ている人を楽しませた。

清水ファーストレディの中盤足立富子がボールを左右にまわし、トップの吉村キャップテンにまわし先取点。その後も楽な試合を進めた。

決勝はこの大会の実行運営委員長でもある綾部美知枝の一人舞台だった。ドリブルシュート、ペナルティーキック、ボレーシュートとたてつづけに3点先取。ハットトリックで完勝した。

相手チーム河輪も清水マドモアゼルとの元気さはなく、一方的な試合になった。しかし最後まで女性らしく、すばらしいマナーでゲームを展開した。

ゲーム終了後各自に参加証の家計簿がわたされ、優勝準優勝のメダルも贈られた。

またこの日、一回戦で綾部氏をマークした中島まささんは六十四才、静岡県サッカー協会から特別表彰された。

この大会は少年サッカーの育成の場としてその役にあたる母親に少しでもサッカーを理解してもらおうと開催され、参加者はあまりの楽しさについ我を忘れて走りまわった。

あまりの走りすぎで両足こぐらにかかる人すわりこんでしまう人もいたが、最後までファイトあるプレーは見物人を楽しませてくれた。

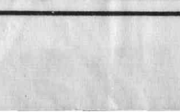
第一回駿河湾カップ 少年サッカー大会 組合わせ決まる！

昨年清水市内山の手チームによる興津川リーグが発足。西河内、小島、興津のほか小河内、中河内、和田島の強化にもなったが、今回、駿越少年団巻口氏が中心となって海岸線にある六つの少年団で巴川大会を開くこととなり、もう少し大きく発展させる意味から駿河湾カップと名づけられた。

この大会に参加できるのは清水港に面した東海小、三保一、三保二、駿越、不二見、清水の六少年団。将来は久能、大谷、長田南の静岡勢も入れたい。と関係者は大きな夢にしている。

駿河湾カップはこの地区清水小に日本サッカー協会技術委員の堀田先生がいることからカップは市民大会のものよりもすばらしいものが贈られた。

組合わせは次のとおり



○期日　二月四日五日
○場所　清水小

ブラジル遠征計画 着々と進む

正式招待状が 稲名会長に届く

八月予定のサンパウロ遠征の受入側協会の正式招待状がこのほど清水市サッカー協会長あてに届いた。

（招待状原文のまま）

稲名市長への手紙

Ilmol Sr.
Yoshio Inana
DD. Frefeito de Shizuoka 清水市長
Presidente da Federaqao 清水市フットボール協会長
Shizuoka de Futebol　稲名嘉男様
Shizuoka－Japao

拝啓，ブラジルにおける日本移民70周年という記念すべき時に，日本代表をお迎えできますことは，サンパウロフットボール協会代表といたしまして大変名誉あることです。

またこの計画を実現することは，日本とブラジル両国の親善交流のきずなを更に強くすることでありましょう。

この他に，1978年8月10日から10日の間，そして訪伯くがさる2つのチームが，当協会に所属する〝デンチーデ・レイジ〟（14才以下のチーム）のチームと2試合するということに対しては何の支障もございません。

この機会にできる限りの歓迎準備をととのえてお待ちしておりますことを申し上げ，貴協会の益々の発展をお祈り申し上げます。

敬具

サンパウロフットボール協会
会長　アルフレッド・メチディエソ

編集ノート

四十七年の第四回大会が岡部町で開催された前年にサッカーニュースは誕生していたのだから、この間早くも八年の歳月が流れ、主催地は持廻りで清水市二度目の県サッカー少年団大会は十周年の記念すべき開催になった清水サッカー協会の今大会運営には大きな期待が寄せられている。少年サッカー日本一を誇る静岡県の決勝大会である。当日はぜひ清水市営グランドの熱戦にお越し願いたい◆先日久しぶりに二日間、横浜の盛り場を歩いてみた。どこもかしこも人出の多さにうんざりして改めて地方都市の静かさの有難味を感じさせられたのだが、その反面地方都市の静かさの中には列島不況のしわ寄せも多分に含まれているのではないだろうかと考えられる。今年度は七％の経済成長を確信といわれても新春の世相は大きな被害をもたらした『伊豆大島近海地震』もさりながら大きくゆれにゆれている。（二本木）

第十回清水JC杯少年少女大会

日本一のマンモス大会 二百五十チーム参加

一月二十二日市営グランドで閉会！

第十回清水市少年少女サッカー大会は一月十五・十六・二十一・二十二日の四日間で延べ四十五会場、参加二百五十二チーム、二百三十試合の大会が無事終了した。

今までにない多くの参加チームで、市内高校サッカー部員の協力でレフリーがやっと間に合う会場ばかり、その中でも参加選手五千人は力のあるかぎり戦った。

各種別のベスト4入りを中心にめずらしいチーム等をさぐってみた。

チャイルド一年

飯田ファイターズと有度一が圧倒的に強かった。清水チャイルドはABCともよく健闘したが幼児が中心なため、どうしても勝つことができなかった。

入江カウンタック、ポルシェ、モスキート、ノーテーキッド、イスカンダル等めずらしい名がずらり、スーパーカーブームのあととあってさすがに車の名にちなんだチーム名が多かった。

チャイルド二年

不二見、入江シュート、小河内ファイターズ、飯田ファイターズが順当に勝った。

めずらしい名前では東海ダックスフンダーズ、小島わんぱくず、西河内スペシャル、高部ヤッターワン、清水オルカイレブンがある。

試合内容は小河内のファイターズがよくがんばった。

三年の部

江尻、袖師、有二、有一の四強がそろった。その中でも入江を破った袖師のチームは最高のゲームであった。この年令になるとチームもや、固定化してきたが、もっと自由にゲームをさせてもよいように思う。

不二見、東海、飯田も好チームであった。岡ヤンチャーズ、清水レッドイレブン、ブラックイレブン、高部モンキーズ、小島ギャングス、がめずらしい名前で出ている。特に小島ギャングスはプレーはとても紳士だった。

第10回清水JC大会決勝戦成績（同点は両者優勝）

チャイルド	有度一A	0－0	飯田ファイターズ
小2年の部	飯田ファイターズA	2－2	不二見
小3年の部	江尻 A	1－0	有度二A
小4年の部	有度一A	3－2	有度二A
小5年の部	江 尻	3－0	有度一
小6年の部	袖 師	1－0	バイエル清水
中1年の部	庵 原	0－0	一 中
中2・3年	八中2年	1－0	袖師3年
女子の部	入江女子	2－0	清水西高陸上
同ジュニア	入江コロボックル	1－1	西河内イレブン

4年 有度勢同士が対決！ 有度一は二回目の優勝

有一、有二が順当に勝ち進んだ。飯田、庵原もがんばったがやや差があった。

ファイヤーイレブン、岡リトルダックス、もがんばった。

めずらしい名前で東海ドウーは最もアイディアに富んでいた。

5年 江尻対有度一は江尻が初優勝！

岡、江尻、有一、有二が勝ち進みベスト4に、特に岡の進出はすばらしかった。この学年には全くめずらしい名前はなく、三十四チームとも学校名を名のったのもめずらしい。

6年 四十チームの激突 袖師が初優勝！

四十チームの参加ではめずらしい名前ではバイエルン清水、岡イエロータイガー、袖師入江が接戦しながら勝ち進んだ。

王者清水は不二見、有二を破った由比を破り、岡は辻を5対1、清水Bを2対0、三保一に5対2で勝ち進んだ。

入江は三保二、高部をともに5対2で破り進出。袖師は有一を2対1、東海を1対0で久しぶりのベスト4だった。

めずらしい名前では二チーム出ている団で不二見ガンバローズ、カウンタックイレブンの他、興津二軍はソフトボールチームで全員がベースボールスタイルで出場した。

清水63TFCはタヌキ、フットボールの頭文字。その他学級で出場しているチーム、有一の陸上クラブが目を引いた。

辻、西河内、有一、庵原の敗退は残念だった。

中1 一中（2回目）庵原（3回目）引分け優勝

一年リーグの王座争奪戦は一中、三中等が良いだろう。その意味では一中、三中等の技巧派チームが一回戦で見せてくれたゲームは楽しいムードがあった。

五中野球部もがんばったが、どうしても一回戦のかべを破ることはできなかった。

ポーツ界でも進んでいるトレーニングを取り入れることは重要である。

女子ジュニアの部

六チームで西河内と入江がとびぬけて強い。入江コロボックル、西河内イレブンちびの今後の活躍に期待したい。

小河内ピンクレディーストレディー、有一陸上部、六中女子ハレホレサッサーチーム、入江ダンプ女子、西河内タタリジャー、袖師レッドイレブンママチーム清水西高女子イレブンである。

特に小中高チームにママさんチームが参加して行われたため、応援のムードも最高。この中で両中一年女子、清水西高、袖師、入江の四チームが残った。

ママさんチームはベスト8に入江とファーストレディーが勝ち残ったが、清水西高と両中にそれぞれ大差で敗れた。

ママさんチーム六チームの参加でサッカーの楽しさとおもしろさが広がり、今後益々女子サッカーの発展につながるものと思われる。

大会を終って何よりも強力に感じたことは市内高校生の最大の協力である。ちょうど十年前、自分達もJC大会に出場した小学生四年の部であった。いま感謝の気持でその運営に力を入れてくれる本当の地域のサッカーのルーツである。

めずらしい名前ベスト10チームの各賞ベスト1は西河内タタリジャー（勝敗に関係なし）

第10回清水JC大会 珍名ベスト10チーム

東海ドウー（4年）	六中ハレホレサッサチーム（女子）
清水TFC（6年）	有度一カーサンズ（女子）
不二見ガンバローズ（6年）	西河内タタリジャー（女子）
小島ギャングス（3年）	入江ダンプ（女子）
岡ヤンチャーズ（3年）	辻女貴族（女子）

中2・3 八中 三回目優勝を飾る

決勝進出の袖中、ベスト4の二中、六中、両中の中で両中がすばらしい活躍であった。

六中二年と一中三年をなぎ倒した袖中に残念ながら破られたが、その活躍はすばらしいものであった。

五中野球部が三年、二年とフル出場。八中時野球部も出場。この年期にサッカーでのトレーニングに目をつけ清水チャーチを招いて本年度から身体づくりをやることになっており、各コーチに賞讃の拍手を送りたい。

巨人長島監督もはサッカー部より高橋内コスモスも意欲的に中村両トレーニングゲームに参加する姿が印象的だった。

女子の部

ママの参加でムードがあがる。二十三チームの女子チームの参加は大会はじまって以来の多数チーム。名前だけでも楽しくなってしまうチームが多い。

辻女貴族、高部ファーストレディー、有一陸上部、六中女子ハレホレサッサーチーム、入江ダンプ女子、西河内タタリジャー、袖師レッドイレブンママチーム清水西高女子イレブンである。

特に小中高チームにママさんチームが参加して行われたため、応援のムードも最高。この中で両中一年女子、清水西高、袖師、入江の四チームが残った。

ママさんチームはベスト8に入江とファーストレディーが勝ち残ったが、清水西高と両中にそれぞれ大差で敗れた。

ママさんチーム六チームの参加でサッカーの楽しさとおもしろさが広がり、今後益々女子サッカーの発展につながるものと思われる。

大会を終って何よりも強力に感じたことは市内高校生の最大の協力である。ちょうど十年前、自分達もJC大会に出場した小学生四年の部であった。いま

少年サッカーとチームプレー

質問のできるプレーヤーに

「わかったの？ わからないの？ わかったらわかったと、わからなければわからないと、はっきりいわなければ、わかったのか、わからないのか、わからないじゃないか！」

この言葉は自分がわかったのかわからないのか、意思表示をしない子どもに問いかけている言葉である。

子どもの中に都合が悪いと口をつぐんでだまって黙秘権のように何も反応しない子をよくみかける。

困った時にやっているしぐさやくせが、いつの間にか普通の生活の中に入りこみ、実際に意思表示をしなくなる。

これは一見、子どもがそのようになってしまうものと思いこみがちであるが、実際には指導者や親の責任が全くあるといえる。

最近そんな子どもが増えたということは、指導者があまりにもきめつけて押しつけて教えこむことが多すぎるからではないだろうか。

生活の中で重要なしつけだとか、自分の責任とかは割合とフリーにしておいて知識的なこと、学習の方法等は完全にきめつけが多いそのために子ども自身が考える時間がなくなり考えなくなる。

しつけは小さい時にきびしく、人の迷惑にならない生き方を教えることであるから、ある型から入ることが大切である。

しかし知識とか、サッカーでいえば技術というものは自分で考えながら修得することが最も大切である。なぜならば、その技術を使うのは自分であるからその必要性とか重要性を自分が知ることができるからである。

私は子どもがサッカーをしている時、いろいろな問題にぶつかる子が将来性のある子だと思うのはこのところにある。

いつも疑問をもってプレーにのぞむ、これは別な意味でいえば大きな意欲の表れであるそして指導者に質問することも大切である。

だいたい質問ができるということはわからないことがわかっているからできるのである。

だから指導者としてはいつでも、どこでもいろいろな質問がでる子をつくることが大切である。その質問ができるためには、質問を受け入れる指導者のムードが大切である。

子どもが指導者の前で自分の意見を何でもいえることが、プレーがわかり、うまくなっていくスタートであることを子どもにはやく教えたい。（哲）

フジタ対全静岡

2月26日 静岡招待サッカー

前座戦は全静岡OB対関東OB

五十三年春のサッカーをしめくくる静岡招待サッカー試合は、今年は天皇杯・リーグの王者フジタ工業を招き若手全静岡と対戦する。

ヤマハ、ホンダの中心が日本リーグへの入替戦等で欠くが、高校生牧田のゴールキーパーをはじめ、大学生の長沢、平木、望月、池ヶ谷、杉山、川口、日本リーグでは若手のホープ日立の伊藤、確井三菱の鈴木、ベテランでは松永、井沢を中心に十六名を指名した。欠員のいた場合はユース選手の浜名の望月が準備されており、大変なメンバーである。

この招待試合の前日はこれら招待選手によるサッカー教室がありの県下二十ヶ所に約六千人の子どもを指導してくれる。

これらのトップチームの他にもう一つこの招待サッカーの人気はOBの部である。

今年は県下最強チームを編成、特に県サッカー界で活躍している役員や元日本リーグ選手でかためられている。

全て全日本大会や体ではお馴みの選手もあるが、ゴールキーパーには法政のコーであり県副理事長の藤氏と、清水クラブエースゴールキーパー内山氏の二人。バックでは元古河の桑原氏を中心に浄見、橋戸塚の国体コンビがハーフでは運動量のいベテラン望月啓治柴田、橋本忠広氏の二人。特に橋本氏は四二才であるが現在なお県リーグのトップチームで活躍中で、本年チームの監督もつとめる。

フォワードは八木、狩野、八神、鈴木、堀田の五人、八神、鈴木も静岡国体の優勝メンバーでもある。堀田氏はナイターリーグの得点王でもあり今年の健在である。

いずれにせよテクニックのベテランチームであり楽しみである。

それに対戦するのは全関東の岡野、平木、長沢、八重樫のメキシココンビをはじめ、アジアのトラでならした木村、奥寺を育てた三村氏、レフリーの安田、浅見氏等、豪華なメンバーである。

この試合の他、中学選抜大会の決勝が行われるが、今年の大会は浜松、静岡、藤枝、清水の四強のたたかいで県や、清水がリードしている。

PEPSI

静岡県選抜選手

GK	牧田邦彦（清水東）	18才
GK	望月稔之（東京農大）	21才
RB	伊藤和人（日立）	23才
ST	望月豊仁（富士通）	25才
SW	井沢千秋（日本鋼管）	29才
LB	鈴木久夫（三菱）	23才
LB	平木理彦（大商大）	21才
RHB	桑原 隆（古河）	29才
	堀井美晴（ヤンマー）	27才
DHB	長沢和明（東京農大）	20才
	池ヶ谷大志（法政大）	19才
OHB	松永 章（日立）	29才
RW	中村一義（法政大）	21才
LW	杉山 豊（東京農大）	21才
CF	碓井博行（日立）	23才
	川口 勝（大商大）	21才
FB	池ヶ谷茂（日本鋼管）	大
FB	望月長治（富士通）	
FW	望月哲也（浜名）	次点
HB	大畑行男（ヤンマー）	

第五回全国サッカー少年団 清水招待試合

清水FC 五年連続優勝

全国から二十四チームを招いて行われた第五回大会は西は若松、東は全宮城を招き、全国の最強チーム、刈谷百合ヶ丘、町田SSS神戸FC、上野、山梨湯田、三菱養和、広島名古屋等、すばらしい技術と戦術を持ち合わせた最も良いコーチのいるチームが来清した。その中でも広島、湯田、町田に良いプレーが見られた。

決勝トーナメントには清水、浜松、湯田、焼津の四チームであったが清水、浜松は3対0で、清水、湯田、焼津は接戦の末湯田。

決勝は清水と湯田となったが2対1で清水が勝った。

【最終日戦績】

▽優勝戦
清水六年A 2－1 山梨湯田

▽三、四位決定戦
浜 松 2－0 焼 津

▽二位トーナメント
清水六年B 0－0 若 松
宮 城 2－1 広 島

▽三位トーナメント
藤 枝 1－1 長泉北
清水5年 2－2 神 戸

▽四位トーナメント
町 田 3－0 由 比
刈 谷 4－2 富士宮

▽五位トーナメント
百合ヶ丘 1－1 静 岡
名 古 屋 6－0 新 潟

▽六位トーナメント
富 士 5－0 三重上野
東京三菱 2－1 清水四年

第3回静岡招待サッカー選手によるサッカー教室 2月25日（土）

受講少年団名	会 場	責任者コーチ	招待選手
吉原小サッカー少年団	吉原小G	戸巻裕美夫 青木 伸明	セイハン比嘉 猪俣孝行
庵原支部 〃	由比小G	志村 広三 高田 稔	脇 裕司 橋 弘行
長田南中 〃	長田南中G	高塚 貞雄 辻 茂	杉山 豊
聖光中 〃	聖光中G	赤沢 尚弘小長谷喜久男	木村 勝 今井敬三 園部 勉
静岡 〃	青葉小G	八木 茂 高橋 節夫	渡辺義幸 JPカルバリオ
焼津市 〃	石津浜G・焼津西体育館	深津 敏夫 杉田 基之	上田栄治 確井博行
藤枝YEC	藤枝小G	高橋 勲 桑原 勝義	古前田充 佐々木一也
大井川サッカー少年団	大井川西G・体育館	安藤 洋志 長池 実	中村一義
金谷 〃	金谷町営G	鈴木 登 井田 勝通	渡辺三男 上田栄治 川口 勝
オール吉田 〃	自疆小G	山本 宏 加藤 真久	岩下周三 原 正弾 小滝勇一
清水小 〃	清水小G	鈴木啓一郎 確井 善治	池ヶ谷大志 松永 章
清水FC 6年	辻小 G	綾部美知枝 石井 義信	APマリーニヨ
清水FC 5年	入江小G	中島 孝志 橋本 忠広	堀井美晴
小島・小河内小少年団	小島小G	深沢 直 中島 孝志	坂本豊司 峠 和盛
駒越小 〃	駒越小G	大井 薫 望月 保次	望月豊仁
浜田小 〃	浜田小G	深沢 孝俊 菊川 凱夫	井沢千秋 平木理彦
有二小 〃	有二小G	石川 克洋 小花 公生	伊藤和人 望月長治
清水FC 中学部	三中G（雨天 五中）	加藤 剛重 勝沢 要	植木繁晴 桑原 隆
ゴールキーパー 全静岡	県営草薙G	県サッカー協会堀田哲爾	栗本 直 望月稔之 牧田邦彦

全日本選抜中学生大会に 静岡県代表も出場

日本サッカー協会主催第一回全日本中学生選抜サッカー大会が三月三十日から四月二日まで行われる。

この大会各地区より選抜推選された十チームのほか、中一の全日本強化中一選手もチームに編成され参加する三菱グランドで行われる。

この大会、東京12チャンネルでも準決勝より放映されるが、全試合人工芝で行われる。

静岡県選抜チームは五十二年度静岡県選抜大会の中から選出される。本年度のまとめ役は清水クラブが行うが第一回の大会とあって力が入る。

静岡県OB選抜チーム名簿

	氏 名	所 属	出身校
監 督	山口 勇	駿府クラブ	日 大
コーチ	山田 拓史	清水クラブ	花 大
主 務	富田 文夫	駿府クラブ	浜工専
〃	沼上 正明	沼津四十雀	沼 工
主 将	武田 広光	焼津飛魚	藤枝東
	松永 信夫	清水クラブ	教育大
	山本 直平	藤枝市体協	藤枝東
	中井 和恵	浜松怪童	浜 西
	後藤美喜保	藤枝市体協	日歯大
	伊藤 泰昭	浜松怪童	静岡師
GK	内山 貫之	清水クラブ	藤枝東
〃	加藤 真久	沼津四十雀	法政大
BK	橋島 嘉一	駿府クラブ	早 大
	浄見 元紹	清水クラブ	静 大
	桑原 弘之	沼津四十雀	中央大
	戸塚伸次郎	藤枝市体協	浜法経
HB	望月 敬治	清水クラブ	静 大
	橋本 忠広	駿府クラブ	立命大
	柴田 二郎	焼津飛魚	藤枝東
FW	鈴木 幹	浜松怪童	浜工専
	八神 英典	浜松怪童	静 大
	堀田 哲爾	清水クラブ	静 大
	狩野 武次	駿府クラブ	藤枝東
	八木 敏夫	藤枝市体協	藤枝北
FW	小花 公生	清水クラブ	静 大
	鈴木 石根	清水クラブ	静 大
BK	小林 芳夫	清水クラブ	静 大

招待選手サッカー教室 会場決まる

静岡招待サッカー選手によるサッカー教室は次の十九会場、十九人の公認コーチにて行われる。